

22 Jun 2012

より、今回は水道課を取り壊して増築棟を新築する計画としている。

◆福原 良夫 議員

【鬼北町の防災と減災について】

問 道幅の狭い町道の拡張について

答 愛媛県では、災害時における「緊急輸送道路」というものを指定しており、本町に關係する道路では国道197号、国道320号および国道441号が指定されている。この内未改良部分が多い国道441号については、今年度から桜峠トンネル付近の拡張整備を県営で実施することとなっている。

町道においては、幅員が3.5m未満の部分があり、消防車等の進入が困難な狭い路線については、道路拡張を計画的に取り組んでいる。今年度は、小倉地区宮口1号線など2路線の拡張整備を行うほか、出目地区の音無線を新規に計画している。今後においても、地元から要望の出ている東仲地区の有瀬線ほか10路線について拡張改良を計画しており、災害時に有効的に活用できる町道整備を順次進めていきたい。

問 橋の補強は考えているのか

答 現在、町が管理している橋長2.5以上の道路橋は217橋あるが、これまでにその全ての橋梁について劣化・損傷程度の点検を実施した。その結果を踏まえて、平成23年度において橋梁の長寿命化修繕計画を策定したところである。

今後は、この修繕計画に基づき順次

橋梁の耐震性も検討した補強修繕を実施していく。

現在、町道久保清詰線の三島橋が老朽化しているため架け替え工事を実施しているが、今後においては父野川地区の影山橋と泉地区の市ヶ成橋などの補強工事の施工を見込んでいく。

問 町有建物の耐震化について

答 町有建物の耐震化については、本庁舎が昭和33年の建築であり、町行政の中枢施設として早急な耐震化を図る必要があることから、現在、耐震工事および改修に向け、設計を依頼しているところである。

また、日吉支所については、昭和57年9月建築だが、建築確認検査の時期が昭和56年8月であることから、新しい耐震基準が適用されている。

その他、町の建物で昭和56年6月以前に建てられたもので耐震補強工事が完了していない主な建物は、みどり保育所、三島診療所、泉公民館、愛治公民館、三島公民館、広見体育センターなどがある。

この内、みどり保育所と三島診療所については、平成21年度に耐震診断を行い、その結果、耐震判定値を上回っていることが確認されている。

その他、現行の建築基準法の耐震基準に適合していない建物については、順次計画的に耐震補強工事に取り組む考えである。

また、町営住宅については、建築基準法改正前に建築された住宅も多く、

老朽化に伴う更新時期を迎えていることから、平成23年3月に策定した「鬼北町公営住宅等長寿命化計画」に基づき、計画期間内に、耐震改修などの安全性の確保を図るとともに、屋外道路等の避難経路の整備などを計画的に行うこととしている。

当町においても、多くの公共施設を整備しているが、これらの資産が築後20年から50年を経て、大量に更新時期を迎え、多額の更新費用が必要となる見込みである。

現在、当町においても、投資的経費をはじめ歳出の削減等を進めるなど財政の健全性の確保に苦心している状況にあり、将来にわたり持続可能な財政運営を行うため、全体の財政状況も見据えた上で、将来の公共施設およびインフラ資産に係る更新費用がどの程度かかるのかを把握した上で、公共施設等の今後の在り方について検討していくことが喫緊の課題である。

こうした点を踏まえつつ、将来負担を軽減するためにも、今後においては、公共施設の統廃合や縮小も検討しながら、町有建物の耐震化について、身の丈に合った中での対策を推進していきたい。

問 学校での避難訓練の実施について

答 町内小中学校では、災害時における対応マニュアルを整備しており、それに基づいて地震や火災における避難訓練を年2回から3回実施しており、地震における避難訓練では地震の揺れ

が起こったときに頭を守ることや、安全な場所にすばやく避難することなどを指導している。

◆井上 博 議員

【町内の下水道整備について】

問 近永地区広楽荘近辺の下水道整備は出来ているのか

答 ご指摘の場所については、現時点では整備できていない状況にある。

また近永地区においては、現在の鬼北町下水道基本構想の中で公共下水道事業として平成27年度以降の整備計画となっていることから現在着手していない状況である。

今年度は第二次下水道基本構想見直しの年でもあり、近永地区の下水道整備計画については、今回抜本的な見直しを行い、地域環境に合った生活排水対策を計画的に取り組んでいきたいと考えている。

問 水路に処理水を放流する場合、町から水利権者への説明がされているのか

答 問い合わせ等があった場合には、水利権者等に対して、合併浄化槽の設置は未処理の生活雑排水が放流される場合と比較して水質汚濁防止に多大の効果があることを説明し、理解を求めている。

また、浄化槽について分からない点等地元より要請があれば出向いて行き、説明するようにしている。